

仏教とお寺をやさしく解説

さんが

Saiganji Sainomiyako Memorial Park News

2013年9月

第14号

(年4回発行)

秋の
お彼岸号

発行部数3千部



「老い」について考える／丹羽義昭住職インタビュー
シリーズ浄土宗／浄土三部経3 「阿弥陀経」
実践教室／お墓参り
仏事相談／百箇日法要はどんな法要？

来迎図(西願寺所蔵)

「敬老の日」老について丹羽住職と考える

もうすぐ敬老の日です。敬老の日は、長い間社会の為に尽くしてきた高齢者に感謝や尊敬の気持ちを表し、長寿を祝う日とされています。

敬老の日になみ「老い」についてご住職にお話しを伺いました。



西願寺 丹羽義照住職



問 仏教では「老い」は、四苦八苦の中の基本的な苦である生・老・病・死の一つですが、苦とはどのようにとらえるのでしょうか。

住職 苦は「苦しみ」ということだけではなく、「思うようにならない」ことを意味します。人は誰でも、同じように年を重ねていきます。生まれた時から、一日一日、一年一年、年を取っていて、これは逆戻りすることはできません。このように自分の思うようにならないことを苦と捉えるのです。

問 確かに年齢をここで止めたいと思っても実際にはそれはできないことですね。言葉の意味を考えると、老いていくこと自体が苦なのではないと思います。

年齢を重ねると、どうしても身体的に衰えてきますが、それを「老人力」がついた。と前向きに表現した言葉もあるそうですね。「忘れてしまう」を「忘れることができる」とすると…。

住職 そうですね。考えによって物事は大きくちがいますよね。若い人たちと、高齢者では時間の流れ方も変わっているように感じます。経験も少なく狭い視野の中で悩んでいる若者の悩みも、高齢者から見れば切り抜けることのできる小さなことと思えることもあるでしょう。

問 今では少なくなりつつある多世代同居は、僧父母などと生活を共にする中で子どもがおおらかさを学ぶという事が多かったかもしれませんね。

住職 核家族の家庭では、高齢者と接する機会も少ないでしょうしね。

問 最近では、若者と高齢者がお互い支え合い共生するコミュニティなども注目されているようですね。お年寄りと学生のシェアハウスや、学校内に高齢者施設と保育園を併設するなど相乗効果も期待されるのとか。

住職 お互いが関わり合うというのは良いことだと思います。いろいろな面でメリットもあるのではないのでしょうか。うちの幼稚園でも近所にある特別養護老人ホームなどを訪問するなど子どもたちが地域活動に取り組んでいます。

お年寄りは、子どもたちと触れ合うことでそのパワーをもらい、子どもたちはお年寄りと接することでより豊かな心を学ぶのではないかな。皆さんの表情もイキイキしていらっしやいます。

問 若い世代の人たちは、自分が歳を取ることに不安を抱えている人も多くいらっしやいますよね。また「歳を取りたくない」という気持ちは多かれ少なかれ誰にでもあると思うんです。

住職 そうかもしれませんね。年齢を重ねれば、容姿や身体的な能力は衰えていきますが、経験値や応用力などがつく、また心に張りのある人は私たちがイメージする「老いる」とは違う生き方をされているのではないのでしょうか？

問 そう思います。年齢だけにとらわれるのではなく、心が若いという事が若々しいということなのかもしれませんね。高齢と言われるにはまだ少し早い私たちも、い

い歳の重ね方をしたい

と思います。

本日はありがとうございました。

がとうござ



■敬老の日 一口メモ

敬老の日は、国民の祝日に関する法律によれば「多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う」ことを趣旨として制定されました。平成十五年から9月の第3日曜日がその日となっていますが、平成十四年以前は毎年9月15日が敬老の日でした。

なぜ9月15日が敬老の日だったの？

諸説ありますが、聖徳太子が建立した悲田院にちなんでという説があります。

593年9月15日、大阪の四天王寺に聖徳太子が悲田院を設立したと言われています。悲田とは「慈悲の心をもつて貧苦病苦の人を救えば、福を生み田となる」という意味があり、悲田院は、身よりのない老人を収容する施設だったそうです。



『阿弥陀經』

極樂の清らかな美しさ

浄土三部經のうち「大經」と呼ばれる『無量寿經』に對して、『阿弥陀經』は全文二千字弱の短さから「小經」とも呼ばれています。浄土のうるわしい様子と、阿弥陀仏や、そのもとに集う菩薩たちの徳が説かれています。

「阿弥陀經」は、釈尊が弟子の舍利弗（シャリープトラ）に、阿弥陀仏とその世界である極樂浄土の莊嚴とをつぶさに説かれた經典です。そして、極樂浄土に往生するための実践として、南無阿弥陀仏の名号を称える念仏の教えを示しています。



「大經」や「觀經」と同様に、「如是我聞」（このように私は聞いております）からはじまる「阿弥陀經」では、釈尊が舍衛國の僧院、祇園精舍ぎえんしやうしゃに出家した千二百五十人の優れた弟子たちと一緒にいました。そして、そこには菩薩たちや帝釈天など神々もともにいらつしやいました。その時、釈尊は弟子の長老である舍利弗に告げました。とはじまる。

阿弥陀經で説かれるうるわしい極樂浄土の世界

ここから西方、十万億の諸仏の国土を過ぎたところに『極樂』と名付けられる国がある。そこには阿弥陀仏という仏があり、今も尊い教えを説かれている。この国の人々には、一切の苦がなく樂のみであるから、極樂と言われる。

極樂の国土は、金・銀・水晶などの宝物でおおわれ種々の宝玉の池があり、八つの功德のある水で満たされています。池の底には砂金が敷きつめられ、四辺の階段は金・銀・琉璃・水晶で造られ、その上の宮殿も七宝で美しく飾られています。池の蓮華はさまざまな色の光を放って清らかな姿と香りを漂わせてる。

また、そこでは、つねに天上の樂の音が鳴り、大地は黄金であり、昼でも夜でも天上の花々が舞い降りているという。

阿弥陀仏の名前の由来

阿弥陀經では、「阿弥陀仏」というのは、その仏の光明が無量であり、十方の国のすみずみまで照らして何にも遮られないから『限りなき光明（無量光、アミターバ）』と言われる。またこの仏と、この仏の国土（極樂浄土）にいる人々の寿命が無量であるから『限りなきいのち（無量寿、アミターユス）』とも言われる」と阿弥陀仏がなぜその名であるかを釈尊が舍利弗に告げる。 ※阿弥陀如来の梵名はアミターバあるいはアミターユスという。

お墓参り

お彼岸には、多くの方がお墓参りにいらつしやいます。子どもの頃は両親や祖父母に連れられて大人がすることを見よう見まねでしていたお墓参りお花をあげてお線香を供えて…と誰でも何となくは知っています。でも大切なは何をするかではなく、何のためにするかということです。



お墓参りに行ったら本堂にもお参りを

お墓参りの際、菩提寺の近くにお墓があるならば、まずは本堂のご本尊さまにお参りし手を合わせてから墓所に向かいましょう。

お墓は感謝をするための場所

お釈迦さまが亡くなられた時、そのご遺骨（仏舍利）は、八つに分骨されお釈迦さまを慕う人々がそれぞれの国に持ち帰り仏舍利塔を建てて大切に保

管されました。ここで人びとは、お釈迦さまのお徳を偲び、仏法に出遭ったそうです。

私たちがお墓を建てる時も故人への敬いの心から碑を建てて、遺骨を大切に保管する場所とします。しかし、お墓は、故人の居場所ではありません。お墓では私たちが故人とのつながりを確かめ、故人や先祖のおかげで私たちが今日あることに感謝します。

はじめに掃除、供物は持ち帰る

お墓参りに行くときは、掃除用具や線香、生花などと一緒に数珠も忘れずに持っていくきましょう。

せっかくの機会ですので、子どもや孫たちに作法を教え、お墓参りの習慣を伝えていきたいものです。



暮らしの中の
仏教語

「根性」【こんじょう】

皆さんは根性と聞くとどんなことを連想されますか？ちょっと昔の青春ドラマの中では、スポーツをする主人公の周辺で「根性を鍛えなおい」とか「根性が足りない」なんて言葉が飛び交っていました。「ど根性ガエル」なんていう漫画もありましたね。

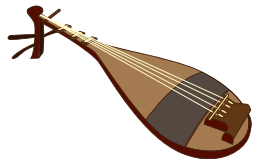
ところで、この根性とは何なのでしょう？辞書で調べると…「その人の本来的に持っている性質」。や「物事をあくまでやりとおすたくましい精神」。などと書かれています。

仏教では、仏の教えを受ける者としての、宗教的素質、能力や性質のことをいうのだとか…。根性には優劣があって、仏はその人の根性に応じて教えの内容や説法の仕方を変えたそうです。



■第4回 十三夜お月見コンサートのご案内■

今年の西願寺お月見コンサートは、薩摩琵琶の演奏です。北原可菜子さんの奏でる薩摩琵琶にしばし日常を忘れる時間を過ごしてみませんか。



日 時／平成25年10月18日（金）

18時受付

場 所／西願寺本堂

参加費／1,000円

参加申込・お問合せは下記の西願寺TEL・FAXまで

薩摩琵琶は

7、8世紀に中国から日本に入ってきた琵琶は盲僧法師たちにより九州地方の薩摩国（鹿児島県）や筑前国（福岡県）を中心に伝えられました。その後、室町時代になると薩摩盲僧から「薩摩琵琶」という武士の教養のための音楽がつくられ、しだいに語りものの的な形式を整えて内容を発展させてきました。

◆演奏者

北原可菜子さん（薩摩琵琶・鶴田流）

◆プロフィール

佐賀県生まれ

2006年「くまもと全国邦楽コンクール」において最優秀賞、文部科学大臣奨励賞を受賞。

2011年「法然上人800年大遠忌」総本山・知恩院にて「法然上人御一代記」奉納演奏。



西願寺 念佛のつどい

当日はご法話、御詠歌やパネルシアターがあります。お気軽にご参加ください。

日 時／10月27日(日)

13時30分より

場 所／西願寺本堂

参加費／無料



※参加希望の方は10月10日までにお申し込みください。

お月見コンサート・念佛のつどい
お申込・お問合せ

西願寺

TEL. 048-925-1723

FAX. 048-925-1789

Q & A



田舎で百箇日法要をすると聞きました。どのような法要なのですか？また参列する必要があるのでしょうか？



百箇日法要は、故人が亡くなられた日から100日目に行う法要で、近親者や故人の友人・知人を招き、僧侶を招いて供養を行うものですが、最近では身近な親族のみで営まれることが多いようです。

また、百箇日は卒哭忌^{そつこくき}ともいいます。この卒哭忌の哭には「声をあげて泣き叫ぶ」という意味、卒の字は「終わる、終える」の意味があります。つまり亡き人を思い泣き悲しんでいた親族や近親者たちも泣くことをやめる頃、それが百箇日を迎える頃だということから卒哭忌といわれるようになったそうです。



掲 示 板

◆ 塔婆お焚き上げについて ◆

当園では、塔婆のお申込又は墓所に立てる際に、塔婆お焚き上げ料として1本につき1,000円を頂いておりますのでご了承ください。

※お寺様ご同行の方（霊園以外で塔婆をお申込の方）は墓前に塔婆をあげる際に事務所にお申し出ください。



彩の都メモリアルパーク
管理事務所

TEL.

048-921-4194

●秋彼岸会

9月20日（金）～9月26日（木）

●葬祭フェア開催

9月22日（日）23日（月）

場所…彩の都 あすま会館

当日は、会場で祭壇等の展示をし葬儀についてのご相談やご質問をお受けいたします。お気軽にお越しください。

葬祭フェアについての

お問合せ（彩の都 あすま会館）

TEL. 048-921-4194

■次号予告

次号は平成二十五年十二月発行予定の「新年号」です。

西願寺・彩の都メモリアルパーク通信「さんが」編集部
東京都千代田区飯田橋四・七・十一 カクタス飯田橋ビル7F
FAX 03 (32695) 1362 Mail: info@o-co.net

◆イオ株式会社

■お便り募集■

編集部では皆さまからのお便りを募集しております。仏事の疑問や悩みごと、身近なできごとや日頃感じていること、川柳など、どうぞお気軽にお寄せください。紙面でご紹介させていただきます。また、「さんが」についての感想もお待ちしております。

季節の雑学

お彼岸のはじまりはいつ？

秋分の日を中心とした一週間は秋彼岸といいます。（同じく春分の日を中心とした一週間は春彼岸）

はじまりは、今から1200年以上前の大同元年（806年）に行われた奈良時代末期の皇族、早良親王（さわらしんのう）の鎮魂にあるとされています。

早良親王は、光仁天皇の第二皇子で、桓武天皇が即位されたために東宮となりました。しかし、藤原種継暗殺事件に連座したとして幽閉されると無実を訴えるため絶食し淡路に流される途中絶命してしまいます。その後、桓武天皇のまわりで次々と人が死に、疫病の流行や洪水などが相次ぎます。それを早良親王の祟りであるとし幾度かの鎮魂の儀式が執り行われました。

『日本後記』には大同元年（806年）、祟りを鎮めるため崇道天皇と追号し、京都へ御霊神社を祀り、一方で諸国の国分寺の僧に命じて「七日金剛般若経を読まわしむ」と記述されています。

これが、先祖の霊を供養する日本独自の行事である彼岸会のはじまりで、それ以来、その習慣が現在まで続いているのです。



◆編集後記◆

お彼岸の頃を迎えると季節は徐々に秋らしくなりますね。ここ数年、猛暑が続き今年の夏もぐつたりしてしまふ日々に悩まされました。そんな体に夏の疲れがドッと出るのが九月ではないでしょうか。そろそろ聞こえ出す秋の虫の声でも聞きながら、のんびりと夏の疲れを癒したいですね。

さて、今号では敬老に日に因んでお話をさせていただきます。長寿のお祝いは数え年で61歳（満60歳）になる「還暦」からお祝いするのが習わしだそうです。最近皆さん幾つになっても若々しいので敬老の日を祝うのは何歳からかという意識もだいぶ変化しているようです。あるアンケート調査では、70歳以上からという回答が多くな中には80歳以上という回答も多くなっているのだとか。：。「心が老いない」人が増えているということですね。

発行者／

遊馬山一行院 西願寺

〒三三四〇一〇〇三三 埼玉県草加市遊馬町四三〇番地

電話 〇四八一九二五一一七七三

FAX 〇四八一九二五一一七八九

彩の都メモリアルパーク

〒三三四〇一〇〇三三 埼玉県草加市遊馬町二二六〇一九

電話 〇四八一九二二一四一九四

FAX 〇四八一九二二一四一九五

企画・編集・製作／

西願寺 丹羽義昭住職

イオ株式会社 西願寺・彩の都メモリアルパーク通信

「さんか」編集部